



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社スノーピーク 上場取引所 東  
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山井 梨沙  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務管理室長 (氏名) 金子 聡 (TEL) 03-6805-7738  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	11,673	77.6	1,613	513.5	1,713	591.3	1,131	450.9
2020年12月期第2四半期	6,574	△4.2	262	△44.2	247	△48.8	205	△39.4

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 1,609百万円(967.2%) 2020年12月期第2四半期 150百万円(△52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第2四半期	円 銭 59.94	円 銭 —
2020年12月期第2四半期	11.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年12月期第2四半期	百万円 20,294	百万円 12,068	% 59.4
2020年12月期	16,866	10,579	62.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 12,063百万円 2020年12月期 10,572百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.50	円 銭 12.50
2021年12月期	—	0.00			
2021年12月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	46.1	3,000	100.9	3,050	96.6	1,800	71.7	95.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期連結業績予想につきましては、本日(8月12日)公表いたしました「2021年12月期通期連結業績予想、及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	19,070,000株	2020年12月期	19,070,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	156,595株	2020年12月期	232,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	18,875,024株	2020年12月期2Q	18,403,435株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	11
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年6月30日)における国内経済は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を引き続き受け、都市部を中心に一部地域にて経済活動の抑制を余儀なくされました。ただし、対象区域や業種を絞った形での感染拡大防止策が取られたこともあり、国内経済への影響は前年の4月に発出された緊急事態宣言と比べて限定的なものとなりました。また、ワクチン接種の広がりもあり個人消費の動向としては回復の兆しが見られております。世界経済は、国や地域ごとに新型コロナウイルス感染症の感染状況の違いから、経済回復に大きなばらつきが出ております。ワクチン接種を含む感染拡大防止策の進展に伴い、経済活動の再開に向けた取組みがなされる一方で、一部地域では感染力の強い変異株の感染拡大が確認されており、依然として不透明な状況が継続するものと考えられております。

当社グループが属するアウトドア業界につきましては、国内外にて密を避けたレジャーとして高い需要を継続した状況にあります。また、キャンプについても同様に需要の高まりが継続しております。特に国内においては引き続きSNSやメディアなどの媒体でキャンプが取り上げられることも多く、レジャー全般の中でのキャンプの位置づけが変化してきたと考えられ、キャンプ参加者のすそ野の広がりが確認されております。

このような環境の中にて、当社グループの営業概況としましては、全ての地域・全てのチャネルにて非常に好調に推移致しました。前年の第2四半期においては4～5月が日本での緊急事態宣言によるマイナス影響にて売上が大きく減少した一方で、6月にはキャンプ需要の高まりを背景とした売上の急回復が見られており、その前期の6月と比較しても今期の6月は更なる売上成長となっており、前年下期からのキャンプ需要が高い水準で継続していることが確認されております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は以下の通りとなりました。

売上高11,673,187千円(前年同期比5,099,146千円増)

営業利益1,613,361千円(前年同期比1,350,368千円増)

経常利益1,713,631千円(前年同期比1,465,737千円増)

親会社株主に帰属する四半期純利益1,131,382千円(前年同期比926,000千円増)

国内での事業においては、好調なキャンプ需要が見られる一方で今年の4月に発出された緊急事態宣言の影響から都市部の店舗における来店客数の減少が見られておりましたが、郊外の店舗での好調な販売もあり、全てのチャネルにて売上は堅調に推移致しました。また、日本のポイント会員数の観点においてもエントリー層を中心に新規会員数が順調に増加している状況が続いております。特に、卸売チャネルにおいては市場全般としてのアウトドア関連商品へ需要の高まりもあり、卸売先でのアウトドアに関わる店舗スペースの拡大や取扱い商品量の拡大が継続していることから、前年同期を大きく上回る成長を維持しております。また、子会社の株式会社スノーピークビジネスソリューションズにおいては、引き続き当社グループ全体のIT化推進及び人材育成にかかる事業支援の強化を図ったことで売上の好調さは維持されております。

海外の事業については、新型コロナウイルスの感染拡大影響が特定の地域で見られたものの、各国にて前年同期を上回る売上実績となりました。国別での状況ですが、韓国については引き続き日本と同様にキャンプに関わる需要が高い水準で継続しており、SNSを通じたブランド認知向上により実店舗及びECでの売上に繋がっております。韓国から越境ECの形で販売の強化を図っている中国についても韓国と同様にSNSを通じた顧客層へのリーチやショップインショップの形態で現地の百貨店への店舗展開を行う中でブランド認知度の強化を図っております。台湾については新型コロナウイルスの拡大により直営店舗における来店客数の減少が確認されておりますが、依然としてキャンプ需要は高水準を維持していることからECや卸売チャネルでの売上に繋がっております。米国については、昨年の9月にオープンした北米本社Snow Peak USA Headquarters(Global HQ4)を起点にリテール向けの戦略強化策を継続しており、当社ブランド浸透を図って参りました。また当第2四半期より米国でのテント商品の販売強化を図っておりますが、需要も強くブランド認知の進展に繋がっているものと考えております。また、今年の5月にはGlobal HQ4のあるポートランドの旗艦店舗内にレストランtakibiを開業しております。レストランへの来店を通じて更なるブランド認知の向上を図ってまいります。英国については、ロンドン都市部でロックダウンが継続されていたこともあり、店舗での売上は依然として厳しい状況にありました。一方で、アウトドア需要は非常に高い状況

が維持されておりホールセールからの受注が下支えとなったことから前年同期を上回る売上実績となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3,428,234千円増加し、20,294,339千円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加1,058,335千円、受取手形及び売掛金の増加609,060千円、商品及び製品の増加441,324千円等により前連結会計年度末に比べ2,119,232千円増加し9,063,240千円となり、固定資産は、スパリゾートの建設を進めたこと等により、前連結会計年度末に比べ1,309,002千円増加し、11,231,099千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,939,158千円増加し、8,226,235千円となりました。流動負債は、短期借入金の増加1,200,000千円、買掛金の増加492,585千円、未払金の増加257,612千円、未払法人税等の増加104,810千円等により前連結会計年度末に比べ2,021,856千円増加し、5,602,521千円となり、固定負債は、長期借入金の減少180,000千円等により前連結会計年度末に比べ82,698千円減少し、2,623,714千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加1,131,382千円、その他有価証券評価差額金の増加313,123千円、為替換算調整勘定の増加166,503千円等があった一方で、配当金の支払いによる利益剰余金の減少235,466千円等があったことにより前連結会計年度末に比べ1,489,076千円増加し、12,068,104千円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は3,752,100千円となり、前年同期末より498,911千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,407,044千円(前年同期間に比べ937,069千円の増加)となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上1,717,127千円(同1,289,832千円の増加)、減価償却費の計上384,201千円(同86,667千円の増加)、仕入債務の増加473,077千円(同534,797千円の増加)、その他の増加285,449千円(同485,523千円の増加)があった一方で、売上債権の増加594,578千円(同874,227千円の増加)、たな卸資産の増加513,892千円(同462,518千円の増加)、法人税等の支払額519,442千円(同381,210千円の増加)があったこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,310,045千円(同914,167千円の減少)となりました。これは、スパリゾートの建設を進めたこと等による支出1,241,774千円(同1,063,737千円の減少)、無形固定資産の取得による支出38,476千円(同57,989千円の減少)、敷金および保証金の差入による支出35,248千円(同4,456千円の減少)があった一方で、敷金及び保証金の回収による収入16,790千円(同16,172千円の増加)があったこと等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、869,287千円(同884,046千円の減少)となりました。これは、短期借入金の増加1,183,838千円(同1,919,298千円の増加)があった一方で、長期借入金の返済による支出75,000千円(同53,004千円の増加)、配当金の支払額235,122千円(同20,248千円の増加)があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想及び配当予想を修正いたします。詳細につきましては、本日発表の「2021年12月期通期連結業績予想、及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,698,002	3,756,337
受取手形及び売掛金	2,257,421	2,866,482
商品及び製品	1,540,775	1,982,099
仕掛品	90,221	126,600
原材料及び貯蔵品	113,899	172,587
その他	246,046	171,146
貸倒引当金	△2,357	△12,013
流動資産合計	6,944,008	9,063,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,773,053	5,002,510
建設仮勘定	1,263,760	1,985,021
その他(純額)	1,541,405	1,621,573
有形固定資産合計	7,578,219	8,609,106
無形固定資産		
ソフトウェア	479,529	408,352
のれん	150,331	125,275
その他	45,939	60,149
無形固定資産合計	675,800	593,778
投資その他の資産		
投資有価証券	635,012	1,065,287
繰延税金資産	221,706	127,517
その他	811,358	835,408
投資その他の資産合計	1,668,077	2,028,214
固定資産合計	9,922,096	11,231,099
資産合計	16,866,105	20,294,339

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	612,255	1,104,840
短期借入金	855,000	2,055,000
1年内返済予定の長期借入金	270,000	375,000
リース債務	7,685	9,099
未払金	644,934	902,546
未払法人税等	569,431	674,242
賞与引当金	—	20,743
役員株式給付引当金	64,479	37,727
従業員株式給付引当金	50,654	30,399
資産除去債務	1,400	—
その他	504,824	392,921
流動負債合計	3,580,664	5,602,521
固定負債		
長期借入金	1,260,000	1,080,000
リース債務	16,920	15,122
退職給付に係る負債	60,308	74,402
役員退職慰労引当金	39,700	55,318
製品保証引当金	231,966	261,186
ポイント引当金	236,525	264,423
資産除去債務	299,426	316,349
長期末払金	377,613	377,613
繰延税金負債	115,314	113,973
その他	68,635	65,323
固定負債合計	2,706,412	2,623,714
負債合計	6,287,077	8,226,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,779,316	2,779,316
資本剰余金	5,132,783	5,133,139
利益剰余金	3,063,286	3,959,202
自己株式	△346,640	△231,904
株主資本合計	10,628,745	11,639,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,755	324,878
為替換算調整勘定	△67,690	98,813
その他の包括利益累計額合計	△55,934	423,691
非支配株主持分	6,217	4,658
純資産合計	10,579,028	12,068,104
負債純資産合計	16,866,105	20,294,339

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,574,040	11,673,187
売上原価	2,930,424	5,271,482
売上総利益	3,643,616	6,401,704
販売費及び一般管理費	3,380,623	4,788,342
営業利益	262,992	1,613,361
営業外収益		
受取利息	158	185
受取配当金	4,082	0
受取保険金	4,880	4,798
補助金収入	2,255	53,510
持分法による投資利益	895	—
為替差益	—	40,386
その他	7,473	16,243
営業外収益合計	19,746	115,123
営業外費用		
支払利息	4,111	3,026
債権売却損	2,811	4,039
シンジケートローン手数料	500	3,000
為替差損	19,128	—
持分法による投資損失	—	4,491
その他	8,294	296
営業外費用合計	34,845	14,854
経常利益	247,893	1,713,631
特別利益		
補助金収入	230,000	—
固定資産売却益	—	3,496
特別利益合計	230,000	3,496
特別損失		
固定資産除却損	642	—
投資有価証券評価損	49,955	—
特別損失合計	50,597	—
税金等調整前四半期純利益	427,295	1,717,127
法人税、住民税及び事業税	144,513	619,745
法人税等調整額	76,792	△30,633
法人税等還付税額	△1,804	△1,808
法人税等合計	219,501	587,303
四半期純利益	207,794	1,129,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,412	△1,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,381	1,131,382

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	207,794	1,129,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,025	313,123
為替換算調整勘定	△59,015	166,503
その他の包括利益合計	△56,989	479,626
四半期包括利益	150,804	1,609,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,392	1,611,009
非支配株主に係る四半期包括利益	2,412	△1,558

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	427,295	1,717,127
減価償却費	297,533	384,201
のれん償却額	25,055	25,055
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,002	9,637
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	14,217
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△11,013	37,727
従業員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△7,736	29,899
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,734	29,219
ポイント引当金の増減額(△は減少)	11,662	27,751
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42,648	12,410
受取利息及び受取配当金	△4,240	△185
支払利息	4,111	3,026
為替差損益(△は益)	468	△7,323
受取保険金	△4,880	△4,798
新株発行費	8,152	—
持分法による投資損益(△は益)	△895	4,491
補助金収入	△232,255	△53,510
投資有価証券評価損益(△は益)	49,955	—
固定資産除却損	642	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△3,496
売上債権の増減額(△は増加)	279,649	△594,578
たな卸資産の増減額(△は増加)	△51,373	△513,892
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,719	473,077
その他	△200,073	285,449
小計	577,722	1,875,508
利息及び配当金の受取額	4,240	185
利息の支払額	△4,111	△3,026
補助金の受取額	22,255	52,010
保険金の受取額	4,880	—
法人税等の支払額	△138,231	△519,442
法人税等の還付額	3,219	1,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	469,974	1,407,044
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,305,511	△1,241,774
有形固定資産の売却による収入	—	8,290
無形固定資産の取得による支出	△96,465	△38,476
投資有価証券の取得による支出	△1,500	—
貸付けによる支出	△2,209	△7,574
貸付金の回収による収入	2,177	2,289
定期預金の増減額(△は増加)	△1,628	△921
敷金及び保証金の差入による支出	△39,705	△35,248
敷金及び保証金の回収による収入	617	16,790
補助金の受取額	210,000	1,500
その他	10,013	△14,919
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,224,212	△1,310,045

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△735,460	1,183,838
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△21,996	△75,000
リース債務の返済による支出	△4,586	△4,306
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,230,270	—
自己株式の取得による支出	△18	△121
配当金の支払額	△214,874	△235,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,753,334	869,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,826	92,047
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,729	1,058,335
現金及び現金同等物の期首残高	3,293,918	2,693,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,253,189	3,752,100

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業を単一の報告セグメントとしております。その他の事業については、量的に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度末より、新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定に重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。